

東国山1号墳の検討

2012. 9. 1

富加見泰彦（和歌山県立紀伊風土記の丘）

東国山1号墳について

今回の夏期企画展の目玉の一つとして東国山1号墳に副葬された須恵器・土師器がある。東国山古墳群は、和歌山市東部の明楽山山塊にある古墳群です。「紀州富士」と呼ばれる神奈備型の高積山を挟んで西の岩橋千塚とは趣を異にする古墳群が存在する。東国山古墳群は5基からなる古墳群である。

環 境 『日本書紀』安閑二年（535）五月条筑紫から駿河までの全国に26の屯倉を設置。紀伊には経湍屯倉、河辺屯倉がこのころ設置。

『日本書紀』10月条に欽明17年（556）に海部屯倉を設置。

（屯倉の設置）欽明15年、百済の聖明王が対新羅との争いで戦死、朝鮮半島を中心に緊張状態が高まる。これに対処するため、瀬戸内海、中部と東端、さらに奈良盆地に入ったところに屯倉を設置。海上からの侵入の防衛線。

河辺屯倉・経湍屯倉 大阪平野から和泉山脈を雄の山峠越で紀伊に入り、南下すると川辺その対岸が布施屋。布施屋の東の吐前は、紀ノ川を上下する乗下船地点で陸路と紀ノ川水運の転換点。

河辺屯倉・経湍屯倉は紀伊—和泉の交通路、紀ノ川水運などの水陸交通の要衝に設置。西を高積山、東を貴志川によって挟まれ河南条理の東端にあたる。

周辺古墳群 和歌山市金谷、東田中、新庄にかけて奥山田古墳群（5基）明楽古墳群（14基）小倉神社古墳群（2基）小倉古墳群（9基）、宮山古墳群（6基）、御殿山の丘陵尾根線には具足壺古墳群、七ツ塚古墳群等の終末期の古墳が築造される。

東国山古墳群の調査 昭和31年、紀ノ川水系の古墳を精力的に調査されていた國學院大學の金谷克己氏によって1号墳・2号墳が調査された。調査内容については考古学選書『紀伊の古墳3』（昭和35年12月刊行）に収録されている。調査された1号墳

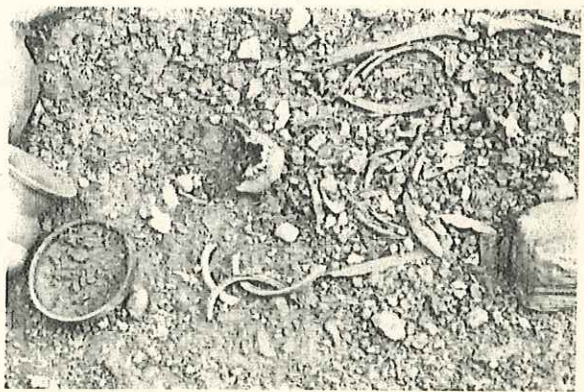
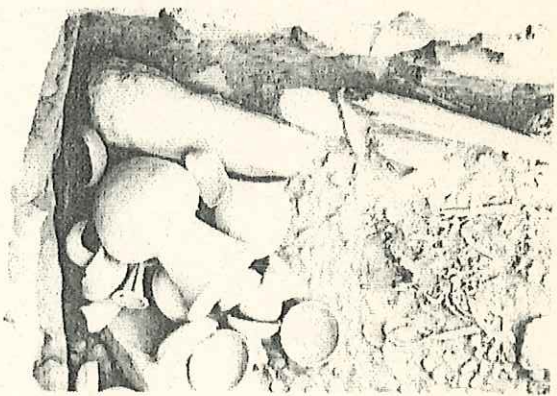
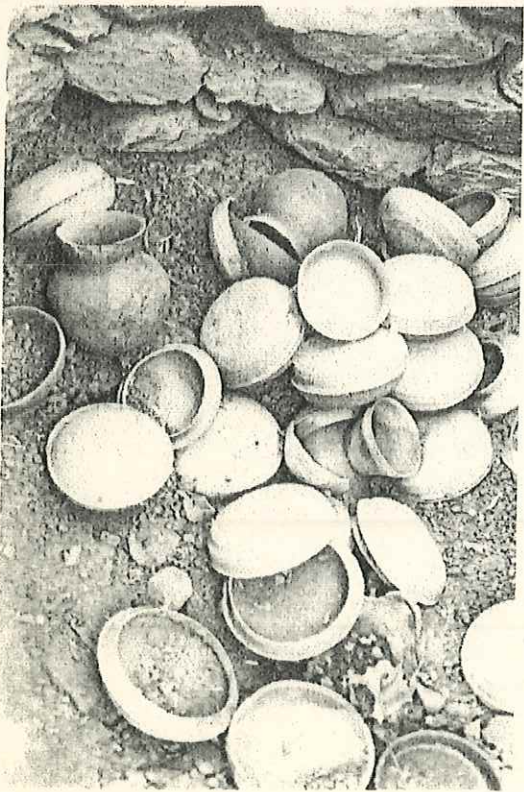
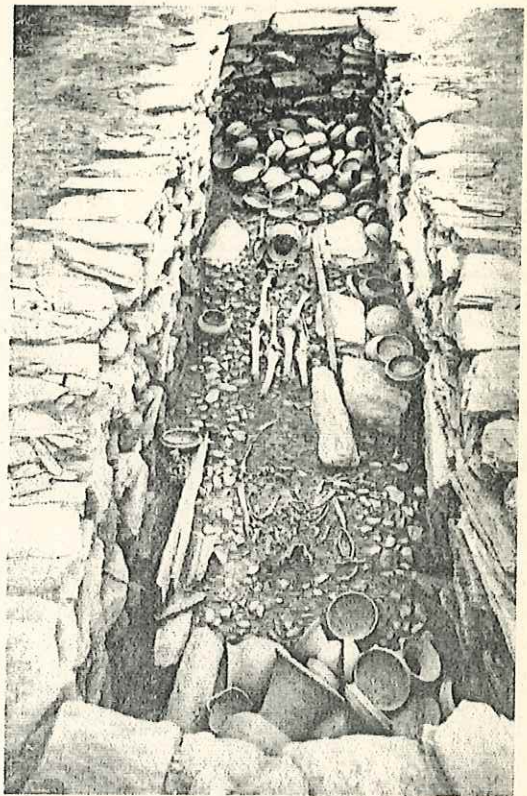
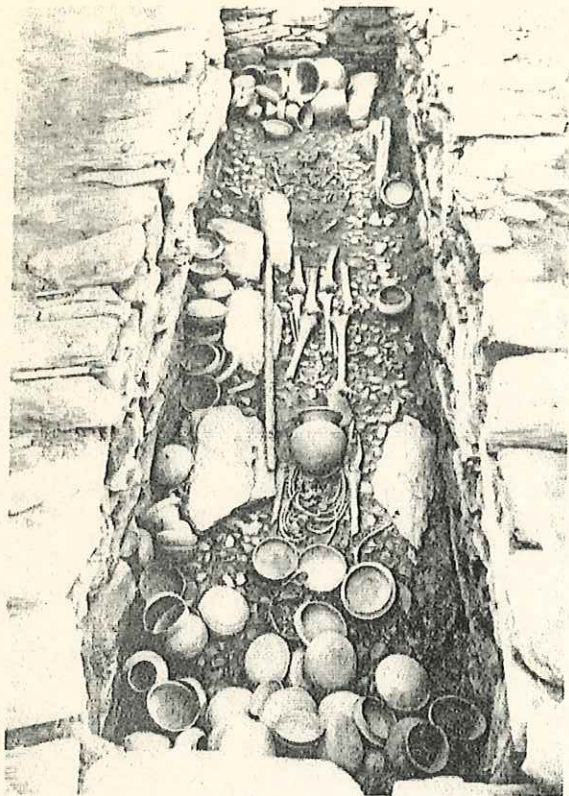
は、径1.5m、高さ4mの円墳で墳頂から約1mの深さで埋葬施設の天井石に達し、竪穴式石室は未盗掘であった。石室は、長さ3.4m幅0.9m高さ0.9mの規模を持つ。石室内からは埋葬の方向の異なる男女2体の遺骸が安置されている。竪穴式石室は本来一人用の埋葬施設であるが2体埋葬され、石室内には須恵器・土師器が100点以上副葬されていた。副葬された土器を詳細に観察すると陶邑の編年を援用すると時期が多岐にわたることが明らかである。

女性の左腰部には刀子（小刀）、男性の左側には直刀、鏃等の武器、須恵器の壺、杯身、蓋杯には穀類、魚類、貝類が納められていました。容器として内容物と共に使用者に供えられたのです。神話にみられる葬送儀礼「黄泉戸喫」（黄泉国の竈で煮炊きしたものを食べること）を彷彿とさせる。

出土遺物の検討（別紙）

東国山1号墳の副葬品は須恵器蓋杯、土師器椀、はぞう、高杯、壺を展示している。須恵器からその時期を探ると、田辺編年のTK23乃至47段階からTK209段階まで多岐にわたる遺物が副葬されている。埋葬施設が竪穴式石室であることを考えると2体埋葬されているものの常識的には追葬は考えにくい。このことが東国山1号墳副葬品から浮かび上がる最大の疑問であり、どのように理解するかが検討課題である。

まとめにかえて 紀伊では5世紀の須恵器はおおむね陶邑産であり、6世紀になって窯業生産が開始されると考えられる。この現象は、岩橋における横穴式石室導入を契機としたものであると考えているが、生産遺跡、集落址、古墳の副葬品を総合的に判断して紀伊独自の須恵器編年を組み立てる必要性を感じる。



別紙

* 数字は実測図番号

須恵器型式	杯蓋				杯身			
TK47	88				8	12	13	15
					26	62	63	71
					91			

太字はやや古いか？

TK47(新)	3	4	5	20				
	57	58	61	67				
	84	90	92					

MT15	18	24	56	59	9	10	11	16
					25	27	28	64
					66	68	70	74
					80	81	85	87

TK10	1	2	6	7	69	83	86	
	22	23	60	73				

TK10(新)	17	19	21	72				
	82	89	93					

TK209					14			
-------	--	--	--	--	----	--	--	--

セット确实	杯蓋	19	84	92	90		3	65
	杯身	80	74	27	10		71	58

焼成からみた同一部ループ

29	31	34	35	76	95
----	----	----	----	----	----

24	57	84	90	92
----	----	----	----	----

66	82	89	93
----	----	----	----

18	56	59
----	----	----

69	83	86	同一窯の可能性
----	----	----	---------

11	70	紀伊産？
----	----	------

蓋杯以外の器種

TK47(古)	30
---------	----

TK47(新)	32	33	76	95
---------	----	----	----	----

MT15	29	31	34	35	36
------	----	----	----	----	----

TK10	75	97
------	----	----

ケースの配置と遺物番号

		ケース1
ケース4	ケース3	ケース2

ケース1

20	93	19	4	60	67	58	22
89	70	21	1	59	84	2	5
23	6	7	61	73	90	3	88

ケース2

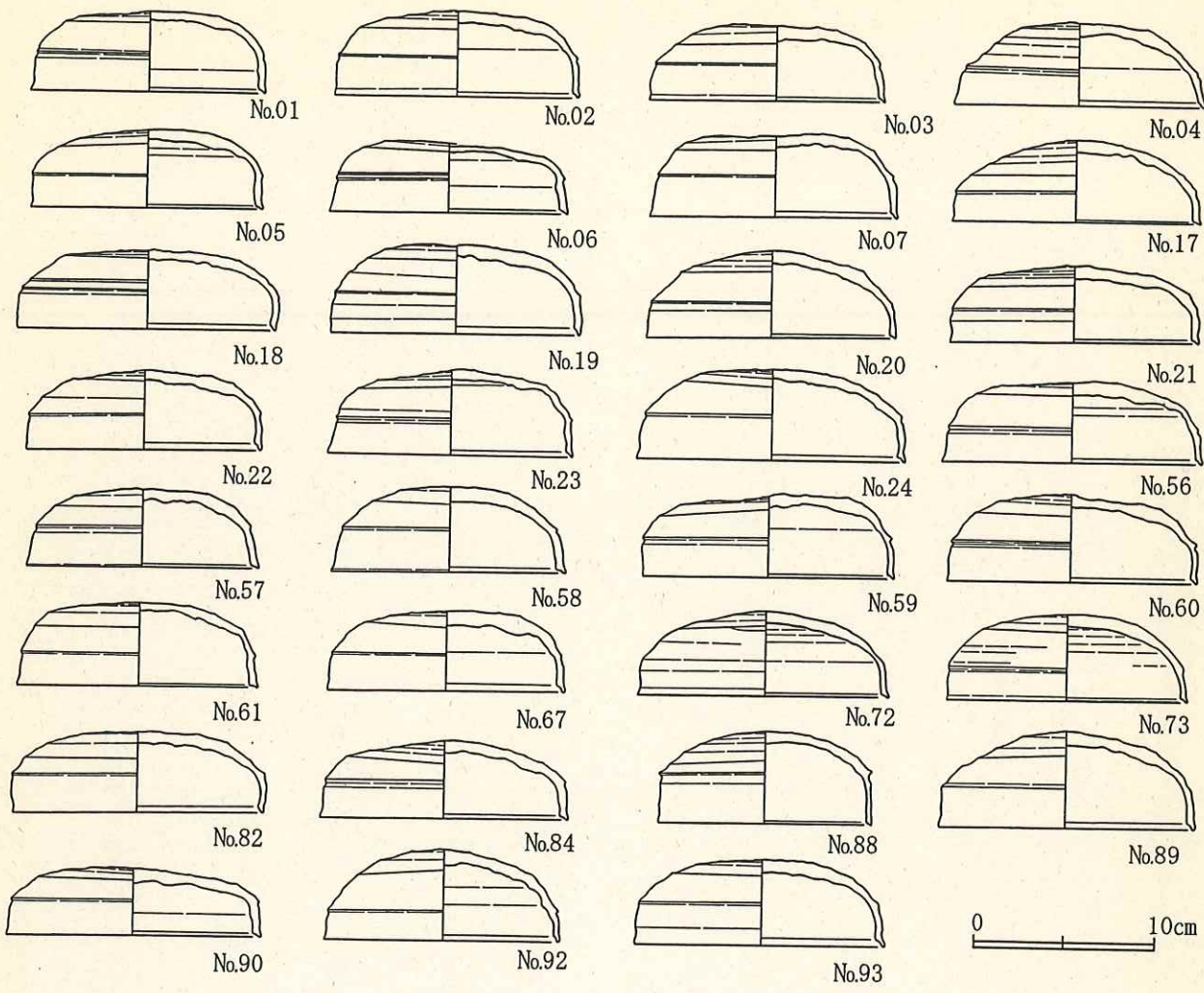
24	57	12	15	91	65	66	27
82	56	26	8	13	85	70	11
18	92	62	27	63	16	68	74

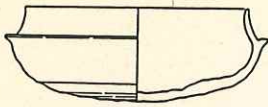
ケース3

	35		14	69	28	25
29		31	64	9	87	10
30	33	34	81	83	80	82

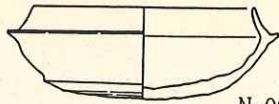
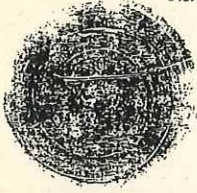
ケース4

99	94	98		51	41	37
97		95	39	54	44	53
79	78	77	45	40	38	52

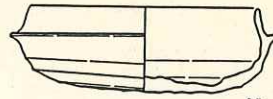




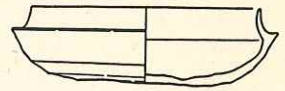
No.08



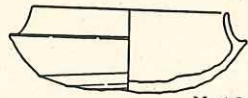
No.09



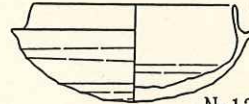
No.10



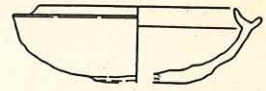
No.11



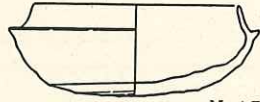
No.12



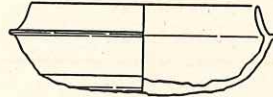
No.13



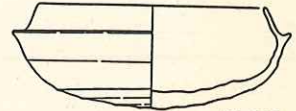
No.14



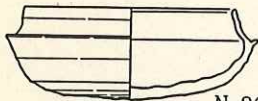
No.15



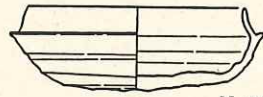
No.16



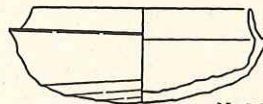
No.25



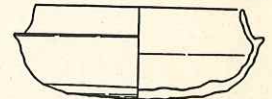
No.26



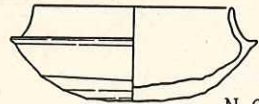
No.27



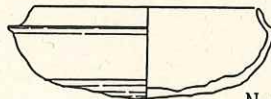
No.28



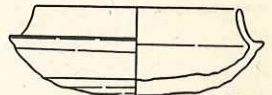
No.62



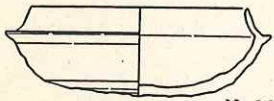
No.63



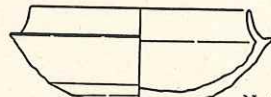
No.64



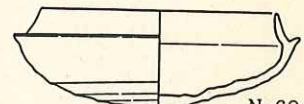
No.65



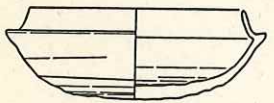
No.66



No.68



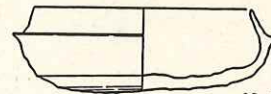
No.69



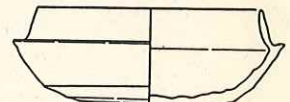
No.70



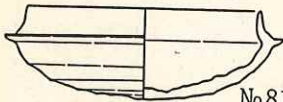
No.71



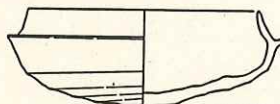
No.74



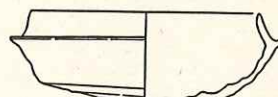
No.80



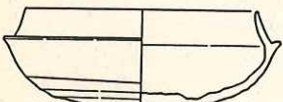
No.81



No.83



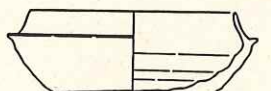
No.86



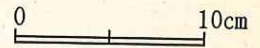
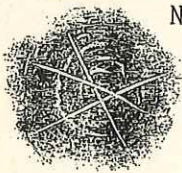
No.85

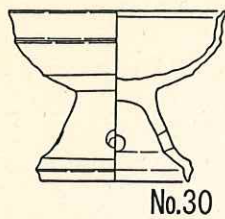


No.87

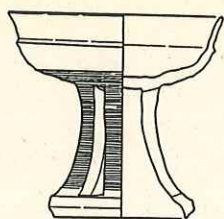


No.91

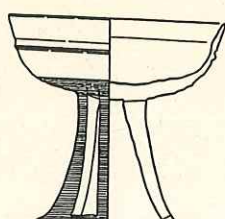




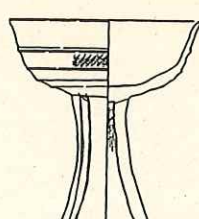
No.30



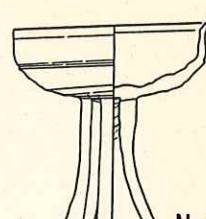
No.33



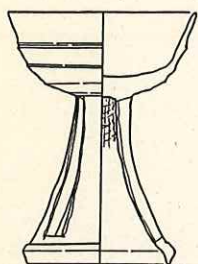
No.32



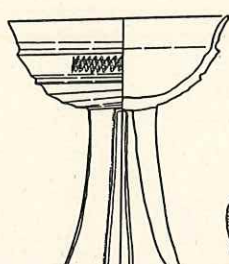
No.29



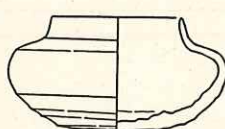
No.34



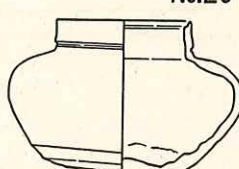
No.31



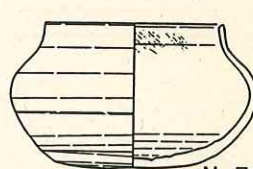
No.35



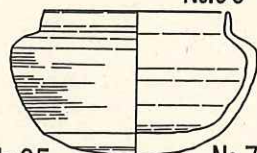
No.96



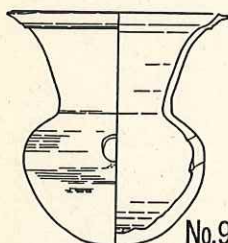
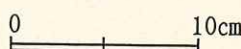
No.78



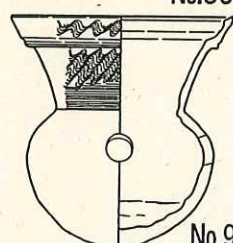
No.79



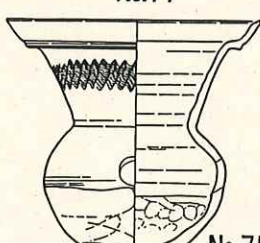
No.77



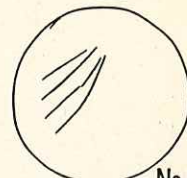
No.97



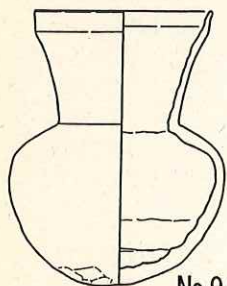
No.95



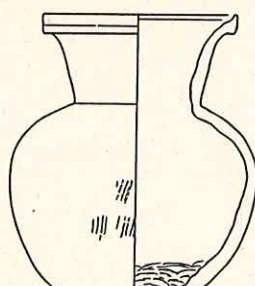
No.75



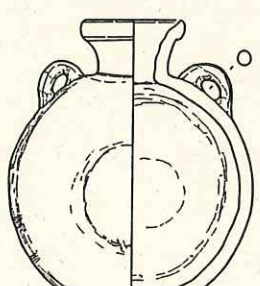
No.76



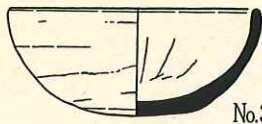
No.94



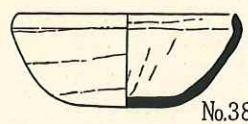
No.98



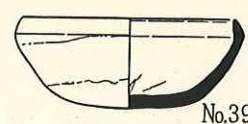
No.99



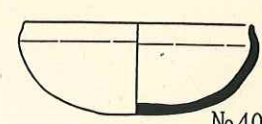
No.37



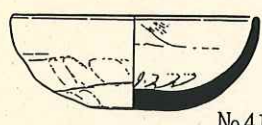
No.38



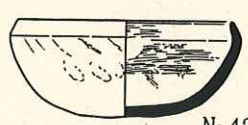
No.39



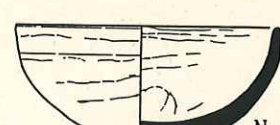
No.40



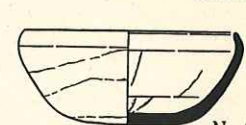
No.41



No.42



No.43



No.44



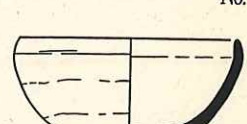
No.45



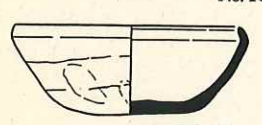
No.51



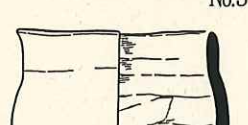
No.52



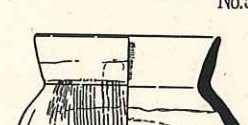
No.53



No.54



No.48



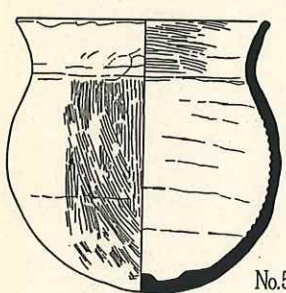
No.49



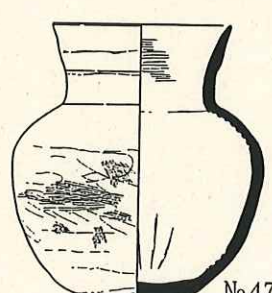
No.46



No.55



No.50



No.47

